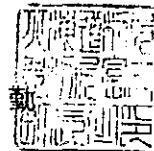


利富産建 第4038号  
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

利尻富士町長 吉田



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号によることについて、別添のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案  
①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①  
北海道利尻富士町

・離島は地理的特殊条件により、都市部等と比較した場合、生活や経済・社会活動に大きな較差があるため、離島を結ぶ航路を「国道」として位置づけ、財政的な配慮や円滑な道路ネットワークの形成と路線の高度化を図っていただきたい。

・離島において道路は、島民の生活や経済・社会活動を支える最も重要な基礎的な社会基盤であり、地域経済の活性化等を図るうえで必要不可欠であり、今後も安全・安心の確保、生活環境の創造の視点からも効果的かつ効率的に道路整備を進めていただきたい。

・道路整備の安定的な財源確保はもとより、必要な道路を着実に選定・整備し、効率的活用と利便性向上を考慮したうえで整備推進を図つていただきたい。

・道路整備における各種補助金、交付金等の制度において、地方の財政状況に応じて補助率・交付率の引上げ等、柔軟な制度改正や規制緩和を行っていただきたい。

・道路整備、道路行政全般において、計画段階から住民参加を図り、情報公開、説明責任、行政の透明化を進めていただきたい。

・北海道は豪雪地帯であり、冬期間の除排雪については、生活路線の確保・交通安全上からも重点的に取り組むべきであり、適時適切な維持管理とともに必要な財源の安定的な確保が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案  
②-1 地域の現状と抱える課題

様式②  
北海道利尻富士町

○現状	○課題
<ul style="list-style-type: none"><li>自動車依存が非常に高い。</li><li>駆け市街地の道々は道路の幅が狭く、歩道未整備・急カーブ・急勾配の箇所がある。(停車帯、駐車場不足含む)</li><li>冬期間における自然環境が厳しい。(堆積幅不足・交通障害)</li><li>通行止め区間の存在により、異常気象時に孤立する集落があり、日常生活や産業活動、救急医療等に支障がある。</li><li>離島という地理的特殊条件(航路欠航、物価高)により、生活・経済基盤(物流、救急医療等)に大きな障害がある。</li><li>沿道景観の魅力不足</li><li>高齢化社会の到来(高齢化率の上昇)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>安心安全な道路空間の確保</li><li>冬期間における安全対策、道路空間の確保</li><li>緊急時の対応</li><li>医療に対する不安解消</li><li>各種ネットワーク形成</li><li>本道へのアクセス向上</li><li>人を大切にする、表現に配慮した道路整備、自然環境、街並み景観等に配慮した道路整備</li><li>バリアフリー やユニーバーサルデザインへの配慮</li></ul>

今後の道路行政についての意見・提案  
②-2 地域の目指すべき将来像

様式(3)  
北海道利尻富士町

- 安全、安心、快適な生活環境に配慮した道づくり
  - ・道路空間の確保はもとより、交通事故のない安全な道路整備の推進
  - ・バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入により、高齢者、障害者に対応した道路整備の推進
  - ・関係機関、地域と一緒に計画的な維持管理体制の促進
  - ・冬期間の除雪体制の強化

- まちづくりと連携し景観に調和した魅力ある道づくり
  - ・車と人との共存を図りつつ、人を大切にする表現を取り入れた、「歩いて楽しい道づくり」の推進
  - ・舗装材の工夫、電線の地中化等街並み景観の創出、風景に調和した施設整備を推進
  - ・自然環境の保全と育成に努め、ポケットパーク等の緑化推進、自然と共生できる道づくり
  - ・商店街の活性化、利便性向上を図り、地域経済と連携した道づくり
  - ・景勝地、各施設、商店街へ来訪者を誘導するアプローチの改善を図り、観光資源へのネットワーク化の形成

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項

○代表事例

○期待する効果や評価等

○その他

様式④  
北海道利尻富士町